

攻めの信仰と守りの信仰

アベノマスクをつけ、手洗いとうがいをするのはコロナに感染しない守りの姿勢です。反対に体温を測定して微熱が続くようなら、外出を自粛するのは攻めの信仰です。日本では守りは行き届いていますが、攻めの体温測定やコロナの検査が行き届いていないと思います。信仰に於いても守りの信仰、すなわちイエス・キリストの十字架は私の罪の為であると受け、罪から救われるは信仰の土台です。しかし、救われたものが、罪に打ち勝ち、正しい生活を実践する攻めの信仰も不可欠です。言わば、車の両輪、コインの裏表のようなものです。コロナにおいても信仰においても攻めと守りが両立しないと、今のままではただただとして、健全な生活が遅れないのではないのでしょうか